

性能基準及び管理基準

1 性能基準

諏訪湖流域下水道豊田終末処理場に流入する下水が流入基準の範囲内である場合において、処理場等の現況の施設を使用して達成すべき性能として以下のとおり基準を定める。

(1) 放流水の水質に関する基準値

放流水の水質等の基準値は、次表のとおりとする。

表：性能基準（放流水の水質等の基準値）

項目	範囲
化学的酸素要求量（COD）	1 0 mg/L 以下
浮遊物質（SS）	5 mg/L 以下
全窒素（T-N）	1 4 mg/L 以下
全リン（T-P）	1 mg/L 以下

(2) 汚泥脱水に関する基準値

汚泥脱水に関する基準値は、次表のとおりとする。

表：性能基準（汚泥脱水に関する基準値）

項目	範囲
脱水ケーキ含水率	8 5 %以下（日平均）

(3) 汚泥焼却施設からの排ガスに関する基準値

汚泥焼却施設からの排出ガスに関する基準値は、次表のとおりとする。

表：性能基準（汚泥焼却施設からの排出ガスに関する基準値）

項目	範囲
ばいじん	0 . 0 5 g/Nm ³ 以下
窒素酸化物	2 5 0 cm ³ /Nm ³ 以下
硫黄酸化物	計算式より求めた排出基準値以下
塩化水素	7 0 0 mg/Nm ³ 以下
水銀	5 0 μ g/Nm ³ 以下
ダイオキシン類	5 ng-TEQ/Nm ³ 以下

2 管理基準

諏訪湖流域下水道豊田終末処理場に流入する下水が流入基準の範囲内である場合において、運転管理上の目標数値として以下のとおり基準を定める。

(1) 放流水の水質に関する基準値

放流水の水質等に関する基準値は、次表のとおりとする。

表：管理基準（放流水の水質等に関する基準値）

項目	範囲
化学的酸素要求量（COD）	9 mg/L 以下
浮遊物質（SS）	4 mg/L 以下
全窒素（T-N）	1.0 mg/L 以下
全リン（T-P）	0.5 mg/L 以下
大腸菌群数	1,000 個/cm ³ 以下
残留塩素	検出以上、0.1 mg/L 以下

(2) 汚泥脱水に関する基準値

汚泥脱水に関する基準値は、次表のとおりとする。

表：管理基準（汚泥脱水に関する基準値）

項目	範囲
遠心脱水機脱水ケーキ含有率	80%以下(日平均)
ベルトプレス脱水機脱水ケーキ含有率	82%以下(日平均)

(3) 汚泥焼却施設からの排出ガスに関する基準値

汚泥焼却施設からの排出ガスに関する基準値は、大気汚染防止法第3条及び第18条の27に規定されている排出基準値の2分の1以下の値並びにダイオキシン類対策特別措置法第8条に規定されている排出ガスに係る排出基準値の2分の1以下の値とする。

(4) 臭気対策に関する基準値

臭気対策に関する基準値は、ア、イのとおりとする。

ア 特定悪臭物質

敷地境界、気体排出施設及び排水水について、悪臭物質の規制基準設定状況ごとに、第1地域の規制基準の2分の1以下とする。

（対策とする悪臭物質は指定維持管理業務の臭気測定業務に規定する悪臭物質とする。）

イ 臭気指数

表：管理基準（臭気指数）

項目	範囲
敷地境界	1.1 以下
気体排出口	悪臭防止法施行規則第6条の2に定める方法により算出された値以下
排水水	2.7 以下

(5) 最終処分場に関する基準値

廃棄物処理及び清掃に関する法律（昭和 54 年法律第 137 号）に定める最終処分場の維持管理の基準に適合すること。

(参考) 流入基準

(1) 水量に関する流入基準

水量に関する流入基準は、次表のとおりとする。

表：流入基準（流入下水の水量）

	範 囲
流入下水量（ $\text{m}^3/\text{日}$ ） 日最大	1 1 8, 2 0 0 m^3 以下
流入下水量（ $\text{m}^3/\text{時間}$ ） 時間最大	7, 5 4 2 m^3 以下

(2) 水質に関する流入基準

水質に関する流入基準は、次表のとおりとする。

表：流入基準（流入下水の水質）

項 目	範 囲
生物化学的酸素要求量（BOD）	1 4 0 mg/L 以下
浮遊物質（SS）	1 2 0 mg/L 以下
化学的酸素要求量（COD）	1 1 0 mg/L 以下
全窒素（T-N）	3 5 mg/L 以下
全リン（T-P）	5 mg/L 以下